

# 財 務 情 報 他

平成30年度

学校法人 赤門学院

専門学校 赤門自動車整備大学校

1. 貸借対照表 (千円未満を切捨てて表示しています)

平成31年3月31日現在		(単位:円)
科 目	金 額	
固定資産	4,926,325,561	
流動資産	1,474,095,284	
資産の部合計	6,400,420,845	
固定負債	33,685,699	
流動負債	53,676,550	
負債の部合計	87,362,249	
基本金の部	822,358,118	
繰越収支差額の部	5,490,700,478	
純資産の部合計	6,313,058,596	
負債及び純資産の部合計	6,400,420,845	

2. 収支決算書(千円未満を切捨てて表示しています)

平成30年4月1日～平成31年3月31日

・資金収支計算書

(単位:円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	113,008,773
手数料収入	685,260
補助金収入	6,599,371
資産運用収入	65,582,722
資産売却収入	2,065,923,500
事業収入	138,719,501
雑収入	2,034,564
前受金収入	30,611,863
その他収入	58,555,497
資金収入調整勘定	△67,260,528
前年度繰越支払資金	1,309,050,000
収入の部合計	3,723,510,523
科 目	金 額
人件費支出	127,182,134
教育研究経費支出	23,508,935
管理経費支出	82,265,239
設備関係支出	1,803,200
資産運用支出	2,047,558,369
その他の支出	25,378,157
資金支出調整勘定	△14,626,089
次年度繰越支払資金	1,430,440,578
支出の部合計	3,723,510,523

平成30年4月1日～平成31年3月31日  
 ・事業活動収支計算書 (単位:円)

科目		金額	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	113,008,773
		手数料	685,260
		寄付金	37,800
		補助金	6,599,371
		付随事業収入	15,140,218
		雑収入	6,540,883
		教育活動収入計	142,012,305
	支出	人件費	90,506,971
		教育研究経費	49,716,214
		管理経費	51,989,273
教育活動支出計		192,212,458	
教育活動収支差額		△50,200,153	
教育活動外収支	収入	受取利息配当金収入	65,012,402
		その他教育活動外収入	123,579,283
		教育活動外収入計	188,591,685
	支出	教育活動外人件費	35,510,290
		教育活動外管理経費	77,527,196
		借入金等利息	158,643
		教育活動外支出計	113,196,129
教育活動外収支差額		75,395,556	
経常収支差額		25,195,403	
特別収支	収入	資産売却差額	5,923,500
		特別収入計	5,923,500
	支出	資産処分差額	0
		特別支出計	0
特別収支差額		5,923,500	
当年度収支差額		31,118,903	
前年度繰越収支差額		5,459,581,575	
翌年度繰越収支差額		5,490,700,478	

# 財 産 目 録

平成31年3月31日 現在

## I 資産の部

(単位:円)

勘 定 科 目	内 訳	金 額	科目別計
1 固定資産	合 計	4,926,325,561	4,926,325,561
有形固定資産	計	1,714,063,684	1,714,063,684
土地	青葉区川内川前丁61番地 他	976,412,544	976,412,544
建物	校舎 棟 学生寮 棟	632,001,086	632,001,086
建物付属設備	上記建物の付属設備	19,387,691	19,387,691
構築物	上記建物の付属設備	70,204,978	70,204,978
機械装置	プラズマカッター 他	3,593,386	3,593,386
車両運搬具	連絡車 他	2,500,699	2,500,699
什器備品	テスター 他	1,899,886	1,899,886
一括償却資産	東門(タイル張)	1	1
美術品		8,063,413	8,063,413
その他の固定資産	計	3,212,261,877	3,212,261,877
電話加入権		47,620	47,620
ソフトウェア	学校法人会計ソフト 他	85,183	85,183
投資有価証券	シングルネーム・クレジット債 他	3,211,243,613	3,211,243,613
預託金	自動車リサイクル促進センター	177,180	177,180
保証金	マツダパーツ(株) 他	708,281	708,281
2 流動資産	合 計	1,474,095,284	1,474,095,284
現金預金	計	1,430,440,578	1,430,440,578
現金		1,086,938	1,086,938
郵便振替口座		428,509,565	428,509,565
郵便貯金		320,014	320,014
普通預金		262,873,173	262,873,173
定期預金		737,650,888	737,650,888
その他の流動資産	計	43,654,706	43,654,706
売掛金	赤門自動車学校 他	6,374,054	6,374,054
未収授業料等	学生納付金	6,236,577	6,236,577
商品	新入生用工具セット 他	145,866	145,866
原材料	付属整備工場部品 他	3,283,103	3,283,103
貯蔵品	付属整備工場つなぎ服	1,378,752	1,378,752
仕掛品	付属整備工場仕掛品	11,964	11,964
立替金	諸経費	93,930	93,930
未収入金	赤門自動車学校 他	25,095,382	25,095,382
前払費用	自賠償保険料 他	201,547	201,547
預け金	貸アパート共益費 他	833,531	833,531
資産合計		6,400,420,845	6,400,420,845

## II 負債の部

勘定科目	内訳	金額	科目別計
1 流動負債	合計	53,676,550	53,676,550
未払金	赤門自動車学校 他経費	13,324,622	13,324,622
未払法人税等		1,568,400	1,568,400
未払消費税等		1,367,100	1,367,100
前受金	前受家賃	2,282,623	
	授業料等	28,252,930	
	付属整備工場	63,610	30,599,163
預り保証金	敷金 他	3,331,790	3,331,790
預り金	国家試験受験料	255,740	255,740
仮受金	科学技術学園授業料 他	545,074	545,074
アルバム旅費等	アルバム旅費 他	2,684,661	2,684,661
2 固定負債	合計	33,685,699	33,685,699
退職給与引当金		33,550,699	33,550,699
入寮保証金	学生寮の入寮保証金	135,000	135,000
負債の部 合計		87,362,249	87,362,249
正味財産 合計		6,313,058,596	6,313,058,596

# 学校法人 赤門学院

## 平成 30 年度事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日  
至 平成 31 年 3 月 31 日

### [I] 学校の重点事項

#### (1) 教育計画

##### ①自動車整備士国家資格について

全科の自動車整備士国家資格の合格率を各科目 100%達成を目指し指導した。1・2 級科 2 年生については全科目の全員合格はできなかったが、日本人クラスは少なくとも 1 科目の合格の達成率は 95%、留学生クラスは達成率は 100%、1 級科 4 年・3 級科 3 年は合格率 100%達成と成った。

##### ②就職活動について

各科とも自動車関連企業に内定を頂き、内定率 100%達成することができた。

##### ③学力向上対策として

進級、卒業認定試験の内容については、前年の国家試験問題や新規予想問題等を取り入れつつ、過去問題をベースに作成した。合格率向上対策としては、各科とも毎年、試験前までに十分な模擬試験を行い、学生の学力向上をさせてから認定試験を受けさせる計画を立てた。基本的に、回数をこなして覚える詰め込み型を軸に、以下のことを実践した。

1. 近年、国家試験問題が毎回大幅に変更されるので、新規予想問題作成に力を入れた。
2. 問題の解説、勉強の時間を必ずつくり、理解出来なかった問題はそのままにしない。
3. 苦手な問題については別メニューで出題し克服させる。

##### ④躰教育について

人間としての正しい言動、社会人としてのマナーやモラルを身に付けさせること考えから、本校では一般教育の時間及び実習の時間等を使い挨拶や礼儀、身だしなみ、ビジネスマナーを身に付けさせコミュニケーション能力の向上も行った。また、ソーシャル検定を全員、受験させた。

##### ⑤欠席者に対する指導について

欠席の多い学生については、昨年度同様、根気強く担任以外の教員も指導を行い保護者にも連絡を密に取り、家庭でも協力してもらった。結果、昨年と比較して、補

習校時数が減少となった。一方、留学生は前年との比較は出来ないが補習校時数は多かった。

⑥電気自動車やハイブリッド車の授業への取入れについて

2級科においては、EV車(日産リーフ)、ハイブリッド車(トヨタプリウス)を使用した実習を行い、車両の構造、作動を学ぶと共に低圧電気自動車特別教育修了証を取得させた。また、1級科においては実際の整備作業に準拠し、高電圧部品の交換作業等を実習授業内で行わせた。

⑦2級科実習選択コースの内容充実について

2級自動車整備士科の実習選択の四輪コースでは、破損し使用できない4輪バギーの修復をした。板金コースではオリジナルカー製作を主として取り組ませた。

⑧学生の授業への取り組み強化について

1. 学生の自動車への興味、知識、技術向上の為、授業以外に企業と連携した学生向けセミナーを実施し、授業内容に変化を持たせた。

- ・平成30年6月4日 : マツダ春のセミナー(エンジン)
- ・平成30年8月20日 : 消費者教育出張講座
- ・平成30年8月27日 : ダイハツ技術セミナー(スマートアシスト)
- ・平成30年9月7日 : マツダ技術セミナー(エーミング)
- ・平成30年9月10日 : スズキフレッシュマンセミナー
- ・平成30年9月19日 : マツダ新技術セミナー(1級科対象)
- ・平成30年11月19日 : 宮専各(就職指導)
- ・平成30年11月21日 : マツダ SKYACTIV ジーゼル体感セミナー
- ・平成30年11月22日 : 日産EV技術講習会

2. 実習授業において作並テストコースを使用し、実際に試運転、体感させることで理解度を向上させる事ができた。平成30年度授業での使用は以下の通り。

No	使用時期	科・学年	使用内容
1	平成30年11月21日	3級科全学年	シャシ整備実走確認
2	平成30年12月3日	3級科全学年	総合整備実走確認

⑨学科授業・実習授業に学生が興味深く取り組めるように強化していった。

⑩新入生対象に平成30年5月11日(金)作並テストコースにてカート走行体験授業を実施、全員体験試乗を行い、運転免許の無い学生にも4輪車への興味を持たせ走る楽しさを実感させた。

⑪自動車の構造がどのようなになっているか、またその動きを学ぶために実習授業でラジコンカーの組み立てを行い、本年度4年目となる赤門杯ラジコンカーレース大会を年4回開催した。また、平成31年1月7日の始業式で年間表彰を行い、上位3名を表彰する事で、次回参加への意欲を向上させた。

・第1回 平成30年 5月21日

- ・第2回 平成30年 7月16日
- ・第3回 平成30年 9月17日
- ・第4回 平成30年 10月8日

⑫オリジナルカーの製作を通して、技術と造る喜びを感じる授業とした。

⑬各科でハンドメイドカーの製作を通してものづくりの喜びと興味等を引き出し、校内でエコランレース大会（第1回 平成30年4月23日（月）、第2回 平成30年10月1日（月）の2回）開催した。

## (2) 学生に対する指導

### ①法の遵守と違法改造、交通事故防止、薬物汚染対策について

平成30年4月9日に外部(宮城県警)より講師を招いて、迷惑行為(暴走行為、違法改造、違法薬物)等について講話を行い学生への意識づけを行った。また、交通安全については4月17日の1日間行い学生の運転技術、危険回避能力の向上を行った。  
(2回目の8月23日は悪天候の為、中止)さらに4月と10月の交通安全週間に合わせて、学生の車両点検を実施した。

### ②学生の健康管理、安全管理、生活管理について

平成30年4月11日に健康診断を行い、全学生が受診した。再検査の学生については、担任が家庭への連絡や再受診させる等、個別に指導した。また、学生アンケートを実施し、学生相談窓口にて表面に出ない学生の悩みを把握し対処した。昨年度は深刻ないじめや悩みの相談は無く、自殺者もゼロであった。

### ③防災訓練について

地震、火災等における避難訓練を平成30年6月19日に実施し、災害時の対処の仕方と避難経路の確認を行わせた。また、各科1年生対象で消火器の取り扱い講習も実施した。

## (3) 学校の主な年間行事及びイベントについて

### ①主な行事として以下のとおり実施した。

- 平成30年4月3日（火）入寮日
- 平成30年4月4日（水）入学式
- 平成30年4月5日（木）始業式
- 平成30年4月6日（金）新入生対象入学が'ダンス
- 平成30年4月9日（月）交通安全ビデオ・講和
- 平成30年4月11日（水）健康診断
- 平成30年4月17日（火）交通安全講習&マイカー走行会
- 平成30年6月19日（火）防災訓練
- 平成30年6月26日（火）～平成30年6月29日（金）前期試験
- 平成30年7月18日（水）～平成30年8月19日（日）夏休み



平成30年8月20日(月) 始業日  
平成30年9月24日(月祝) 赤門学院祭  
平成30年10月10日(水)～平成30年10月12日(金) 研修旅行(2泊3日)  
平成30年10月25日(木) 学友会主催芋煮会  
平成30年11月13日(火)～平成30年11月16日(金) 後期試験  
平成30年12月15日(土)～平成31年1月6日(日) 冬休み  
平成31年1月7日(月) 始業日(各種レース大会の総合優勝者表彰式を行う)  
平成31年3月2日(土)～平成31年4月8日(月) 春休み  
平成31年3月22日(金) 卒業式  
平成30年3月24日(日) 自動車整備士資格試験日

②主なイベントとして以下のとおり実施した。

平成30年4月23日(月) 赤門杯エコラレース大会第一戦(教習所コース内)  
平成30年4月27日(金) 赤門スポーツミーティング(広瀬川仲ノ瀬緑地運動広場)  
平成30年4月29日(日祝) ミニバイク・カート・オートテスト大会第一戦(作並)  
平成30年5月11日(金) 新入生対象カート走行体験授業(作並)  
平成30年5月21日(月) 第一回赤門杯ラジコンカーレース大会(教習所コース内)  
平成30年5月27日(日) 赤門カーフェスティバル(作並)  
平成30年7月15日(日) ミニバイク・カート・オートテスト大会第二戦(作並)  
平成30年7月16日(月祝) 第二回赤門杯ラジコンカーレース大会(教習所コース内)  
平成30年9月2日(日) ミニバイク・カート・オートテスト大会第三戦(作並)  
平成30年9月17日(月祝) 第三回赤門杯ラジコンカーレース大会(教習所コース内)  
平成30年10月1日(月) 赤門杯エコラレース大会第二戦(教習所コース内)  
平成30年10月8日(月祝) 第四回赤門杯ラジコンカーレース大会(教習所コース内)  
平成30年11月24日(土) メカニカルカレッジオープンキャンパス  
(3級科授業見学会)

注

5月14日(月) 第一回赤門杯ラジコンカーレース大会は雨天により5月21日(月)に延期し実施。

6月12日(火) 開催予定であった防災訓練は、雨天により6月19日(火)に延期し実施。

8月23日(木) 開催予定であった交通安全講習&マイカー走行会は雨天により中止。

※赤門スポーツミーティングは、初の試みとして広瀬川仲ノ瀬緑地運動広場にて開催した。

※赤門学院祭は、赤門運転教習コースを利用したクラシックカー展示会及び各自動車ディーラーによる新型車試乗会及び展示会を実施。

※赤門杯ラジコンカーレース大会は、総合優勝：3級科1年佐藤将史、総合2位：2級科1年宮澤啓斗、総合3位：2級科1年昆瑛希、以上3名を平成31年1月7日(月)の始業式において、賞状と記念品をもって表彰した。

## 〔Ⅱ〕教職員について

(1)教職員の資質向上に務めることは重要なことであるので、外部研修、内部研修、その他自動車メーカーまたは自動車販売会社による研修を実施して、学生に対する指導力強化を図った。

### ①外部研修会

開催日時	企業名	開催内容	開催場所	参加教員
平成30年7月25日・26日	日産自動車(株)	日産先進技術に関する体感型講習	横須賀市	我妻 孝
平成30年8月27日・28日	UDトラックス株式会社	UD 新技術研修会	上尾市	佐藤信也

### ②内部教職員研修会

開催内容	開催日時	開催場所
教職員会議第1回	平成30年5月30日 15:00～	当校3階会議室
職員研修会第1回	平成30年8月16日・17日	
教職員会議第2回	平成30年10月17日 15:00～	
職員研修会第2回	平成30年12月28日	
職員研修会第3回	平成31年1月4日	
職員研修会第4回	平成31年3月29日	

## 〔Ⅲ〕入学生の募集について

(1)東北の各高等学校での進学説明会に参加すると共に、中学校を含め積極的に入学募集活動を行った。高等学校の校内ガイダンスは平成30年度75回参加（平成29年度は57回参加）、学校訪問は宮城県を中心に岩手県・秋田県・山形県の高校を訪問した。福島県・青森県についてはガイダンス会場付近の高校を訪問した。中学校も宮城県の全校を訪問した。また県外についてはガイダンス会場の付近の中学校を訪問した。

(2)平成29年度から1級科及び2級科入学希望者を対象としたAO入試を更に浸透させ、入学生の早期獲得を図った。AO入試利用者は10名（1級3名、2級7名）と前年（13名、1級1名、2級12名）を下回った。入学生は105名（1級6名、2級89名、3級10名）と増加したが、半数以上が留学生を占めており、日本人入学生が減少してしまっている。日本人の学生を増加させる対策が必要となっている。

(3)当校内での学校見学会及び体験学習を5月より平成31年3月まで行い入学生の増加を図った。学校見学会は全日程予定通り開催した。参加者数は194名と前年の103名を上回ったが、半数以上が留学生の参加となり、高校3年生の参加は48名（29年度54名）、中学生18名（29年度23名）と減少している。

(4)各高等学校・中学校及び資料請求者へ見学会案内状を出した。

・高等学校・資料請求者：6月中…7月1日から開始するAO入試に合わせ学校見学会

について

- ・中学校・資料請求者 : 6月中…3級科希望者対象見学会及び専願について  
予定通り見学会の案内状を送付した。さらに願書受付開始の案内や3級科のポスターを追加で作成し、募集活動が終了するまで資料を送付した。
- (5)7月から平成31年3月まで月1回3級科希望者対象学校見学会を開催し入学生の増加を図った。全日程予定通り開催したが、29年度よりも参加者は減少している。
- (6)9月1日(土)に赤門授業見学会2018(全科)を開催し入学生の増加を図った。30年度参加者1名(29年度2名)と例年参加者がほとんどおらず、対策が必要となっている。
- (7)9月17日(月 祝日)に川内で開催する赤門学院祭に各高等学校及び中学校へ案内状を出した。広告チラシを作成し、県内の高校及び中学校、資料請求者にはハガキ送付を行ったが、高校3年生の参加が12名(29年度13名)と減少している。
- (8)11月24日(土)3級科希望者対象のメカニックカレッジオープンキャンパス2018を開催し、実際に学科及び実習授業の見学を行い入学生の増加を図った。参加者は9名(29年度6名)と増加した。さらに参加した学生の満足度が高く参加した半数以上の中学生が入学につながっている。
- (9)時代のニーズに応えるため1級自動車整備士科の存在意義を高め積極的に募集活動を進めた。EV短大の兼ね合いなどもあり、電気自動車などに力を入れていると募集活動をおこなった。入学生は6名(29年度2名)と29年度よりは増員したが、募集定員には全然及ばなかった。
- (10)国際化時代を踏まえ外国人留学生の入学募集及び受入れを積極的に促進した。留学生対象のガイダンスに積極的に参加した。さらに日本語学校の訪問を行い、30年度から留学生向けのバスツアーを開催し、40名の参加があった。留学生入学生も昨年より倍増した。
- (11)在校生から1級科3年への編入学生、3級科から2級科への入学、また2級科、3級科から車体整備士専攻科への入学を促進するため説明会や各科への見学会を開催した。  
進学説明会日程は下記の通り開催した。
  - 3級自動車科 1年対象  
第1回 10月3日(水)
  - 3級自動車科 2年対象  
第1回 8月29日(水) 第2回 9月12日(水)
  - 2級自動車科 1年対象  
第1回 8月28日(火) 第2回 9月11日(火) 第3回 10月16日(火)
- (12)平成31年度の募集要項の作成を行った。  
募集要項に関しては例年通り5月上旬には完成し発想を行ったが、パンフレットに関して原案はできていたものの、急遽業者に依頼するということに変更になり、6月下旬ごろに完成となってしまった。

〔Ⅳ〕施設及び設備の環境整備について

- (1)施設及び設備については、校舎屋上からの雨漏り、排水管のつまり、また実習上のシャッターのセンサー故障の発生があったので修理し現在は回復した。
- (2)実習及び教室の清掃、整理整頓を実施し環境整備を図った。
- (3)消火器は毎年更新しているが、今年度は31本を新たに入れ替えた。
- (4)校舎並びに学生寮からの出火を防止するため、火災防止指導をした。特に、灰皿へ水を入れることと、空き室が施錠されていることを徹底させた。
- (5)学生食堂の保健衛生については、特に食中毒、ノロウイルス等に注意するため手洗い、及び調理人の体調管理、また食材の管理について指導した。

〔Ⅴ〕会議等の開催日程について

(1)規定の会議について

No.	会議名	開催日	備考
①	理事会、評議員会	平成30年5月29日	
②	教育課程編成委員会	平成30年9月6日	年2回開催(1回目)
③	学校関係者評価委員会	平成30年11月22日	
④	教育課程編成委員会	平成30年12月6日	年2回開催(2回目)
⑤	理事会、評議員会	平成31年3月28日	

(2)その他の会議について

No.	会議名	開催日	備考
①	第1回 専門職短期大学設置委員会	平成30年6月22日	飯豊町役場3階会議室
②	第2回 専門職短期大学設置委員会	平成30年7月24日	飯豊町役場3階会議室
③	第3回 専門職短期大学設置委員会	平成30年11月20日	飯豊町役場3階会議室
④	短大設立「ゼロベースから構想を考える」第1回プロジェクトチーム会合	平成30年12月8日	XEV飯豊研究センター一会議室
⑤	短大設置第2回プロジェクトチーム会合	平成31年1月12日	当校3階会議室
⑥	短大設置第3回プロジェクトチーム会合	平成31年2月2日	XEV飯豊研究センター一会議室

(3)山形県飯豊町関係行事に参加について

- ①飯豊町町制60周年記念式典 平成30年9月1日

②飯豊町新春賀詞交歓会 平成 31 年 1 月 10 日

③山形県次世代自動車勉強会 平成 31 年 3 月 15 日

#### [VI] 収益事業について

当校の附属自動車整備工場オートハイテクニカルセンター川内(以下「オートハイ工場」という)、(ピークルコクブン 48(以下「ピークル工場」という)の 2 工場について

##### (1)2 工場の共通内容

①学校の自動車整備工場設置目的である学校と各整備工場間の人的交流を通じて知識と技術の情報交換を図り、教育の向上に努めてきた。また、自動車整備士としての実務の経験を積み将来の教員の育成の役割をも果たしている。

②自動車整備工場で取り外した故障部品を実習授業教材として確保し活用している。

##### (2)オートハイ工場

主に、学校の連絡車、バス、トラック、積載車等の整備をしている。また、この他に自動車学校の教習車や連絡車や教職員の所有車及び近隣の方々の自動車の整備の依頼を受け実施している。

##### (3)ピークル工場

①1 級自動車整備士科の学生は、整備工場において 200 時間以上のインターンシップを実施することが卒業要件の 1 つとなっていて、他の整備工場にて実施できない学生が出た場合、ピークル工場で受入実施することが可能であり、希望者がいればその役目を果たしていく。今年度申し出た者はいなかった。

②ピークル工場の A 棟 3 階建て建物の 2 階及び屋上に当校実習教材自動車 32 台の保管場所として活用した。

③ピークルコクブン 48 のテナントの貸し出し状況

物件名/床面積	貸出家賃 月額(消費税抜)	借主会社名	入居年月日	退出年月日	入居募集 有無
A 棟 3 階/床 面積 402 m <sup>2</sup>	285,000 円	(株)コスモスウェブ	H27.4.8	—	無
A 棟 2 階/床 面積 513 m <sup>2</sup>	325,000 円	(株)コスモスウェブ	H29.4.5	H31.1.31	有
C 棟 2 階/床 面積 297 m <sup>2</sup>	240,000 円	ワタキューセイ モア(株)	H27.5.20	—	有
C 棟 1 階/床 面積 295 m <sup>2</sup>	230,000 円	(株)オーナメント 依田	H30.9.4	—	無

その他駐車場貸し出し

(株)コスモスウェブ 20 台、(株)オーナメント依田 4 台、(株)ホクトコーポレーション 9 台


# 監査報告書


学校法人 赤門学院

理事長 國分 活妙

令和 元 年 5 月 28 日

学校法人 赤門学院

監事 庄子博 

監事 神田 博 

当法人寄附行為第18条第3項の規定により、平成30年度事業報告並びに財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表は、これを諸帳簿、その他提出資料に基づいて監査した結果、適正妥当であることを認めます。

以上

## 役 員 名 簿 (理事)

常勤・非常勤の別	氏 名	前職又は現職	任期
常勤	國分 活妙	専門学校赤門自動車整備大学校 校長	2019/4/1 ～3年間
※ 非常勤	藤山 文造	元 東北経済産業局環境資源部長	2019/4/1 ～3年間
※ 非常勤	武藤 義治	ムトー総合企画 代表	2019/4/1 ～3年間
※ 非常勤	三品 恵一	元 検察庁 副検事	2019/4/1 ～3年間
※ 非常勤	山口 富士雄	株式会社 赤門自動車学校 校長	2019/4/1 ～3年間
常勤	國分 龍人	専門学校赤門自動車整備大学校 副校長	2019/4/1 ～3年間

※印4名の方が学外者の理事です